

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	総合医学演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	北田 覚	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次に学習した解剖学、生理学、東洋医学概論、経絡経穴概論の復習をし、国家試験に必要な知識を身につける。 行動目標: 国家試験過去問題において90%以上の正答を得られる。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験100% ※課題の提出をもって成績評価の対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
解剖学、生理学、東洋医学概論、経絡経穴概論 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題を自ら実施する。 授業内で実施した過去問題の不明点を調べる、聞く。						
《履修に当たっての留意点》						
学習の質は量が生みます。とにかく学習量をこなせる学習体力をつけることが最優先です。今から少しずつ体力を高めていきましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の概要と学習方法を説明できる	教科書、プリント	1年次の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	国家試験とは 勉強方法のセオリー			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	復習した内容について説明できる	教科書、プリント	前回の問題を再度しておく、1年次の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習①			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	復習した内容について説明できる	教科書、プリント	問題の復習を継続して続けておく	
		各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習②			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	復習した内容について説明できる	教科書、プリント	前回の問題を再度しておく、1年次の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習③			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	復習した内容について説明できる	教科書、プリント	問題の復習を継続して続けておく 美容に関する内容の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習④			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	前回の問題を再度しておく、1年次の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学系の復習①		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	問題の復習を継続して続けておく 美容に関する内容の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学系の復習②		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	前回の問題を再度しておく、1年次の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習⑤		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	問題の復習を継続して続けておく 美容に関する内容の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習⑥		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	前回の問題を再度しておく、1年次の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習⑦		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	問題の復習を継続して続けておく 美容に関する内容の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	解剖生理学の復習⑧		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	前回の問題を再度しておく、1年次の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学系の復習③		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 復習した内容について説明できる	教科書、プリント	問題の復習を継続して続けておく 美容に関する内容の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学系の復習④		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 出題された過去問題で90%以上の正答を得る	教科書、プリント	前回の問題を再度しておく、1年次の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	まとめ演習		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 出題された過去問題で90%以上の正答を得る	教科書、プリント	問題の復習を継続して続けておく 美容に関する内容の復習をしておく
	各コマにおける授業予定	まとめ演習		